

HSBC BRIC株ファンド (SMA・ラップ専用)

追加型投信／海外／株式

償還交付運用報告書

繰上償還（償還日 2020年2月21日）

作成対象期間

（2019年2月28日～2020年2月21日）

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC BRIC株ファンド(SMA・ラップ専用)」は、この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。

当ファンドは、主として、米ドル建てのルクセンブルク籍証券投資法人の投資信託証券への投資を通じて、BRIC（ブラジル連邦共和国（「ブラジル」）、ロシア連邦（「ロシア」）、インド共和国（「インド」）、中華人民共和国（「中国」））諸国の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、運用を行いました。

ここに運用経過と償還内容をご報告いたしますとともに、これまでのご愛顧に対し厚くお礼申し上げます。

HSBC投信株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

〈お問い合わせ先（クライアントサービス本部）〉

電話番号：03-3548-5690

（営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp

償還日（2020年2月21日）	
償還価額	9,321円31銭
純資産総額	932,131円
第1期	
騰落率	-6.8%
分配金	－円

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、弊社のHP（ホームページ）で下記の手順でご覧いただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒HP上部の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書（全体版）」の一覧の最新の運用報告書（全体版）を選択すると、当該運用報告書（全体版）を閲覧・ダウンロードすることができます。

※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

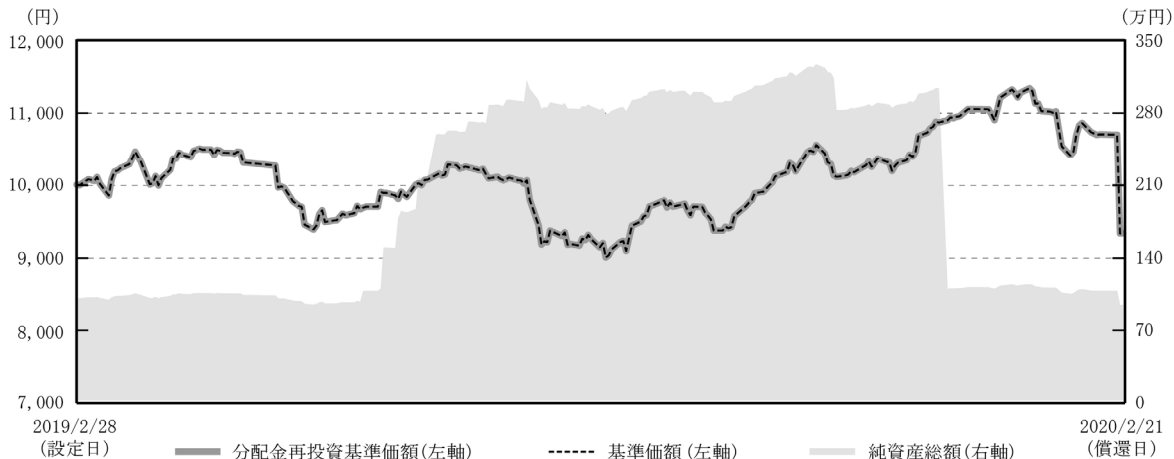
▶運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。



◆運用経過◆

基準価額等の推移について

(第1期：2019年2月28日～2020年2月21日)



【基準価額・騰落率】

設定日：10,000円

償還日：9,321円31銭 (既払分配金：－円)

騰落率：－6.8% (分配金再投資ベース)

*分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するか否かについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、それぞれのお客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

期を通じて組入上位に維持したルクオイル(石油ガス精製、ロシア)、ズベルバンク(銀行、ロシア)などの株価が上昇したことが、基準価額にプラスに寄与しました。

<下落要因>

期を通じて組入上位に維持したブラデスコ銀行(銀行、ブラジル)などの株価が下落したことが、基準価額にマイナスに寄与しました。また、ブラジルレアルが対円で大幅に下落したことも、基準価額にマイナスに働きました。

1万口当たりの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	2019/2/28～2020/2/21		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 37	% 0.368	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	（33）	（0.325）	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	（1）	（0.011）	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（3）	（0.032）	運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.006	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	（1）	（0.006）	
(c) その他費用	905	8.972	(c) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	（885）	（8.775）	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
（監査費用）	（4）	（0.036）	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（16）	（0.161）	振替制度にかかる費用、印刷業者に支払う法定書類にかかる費用等
合計	943	9.346	
期中の平均基準価額は、10,089円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

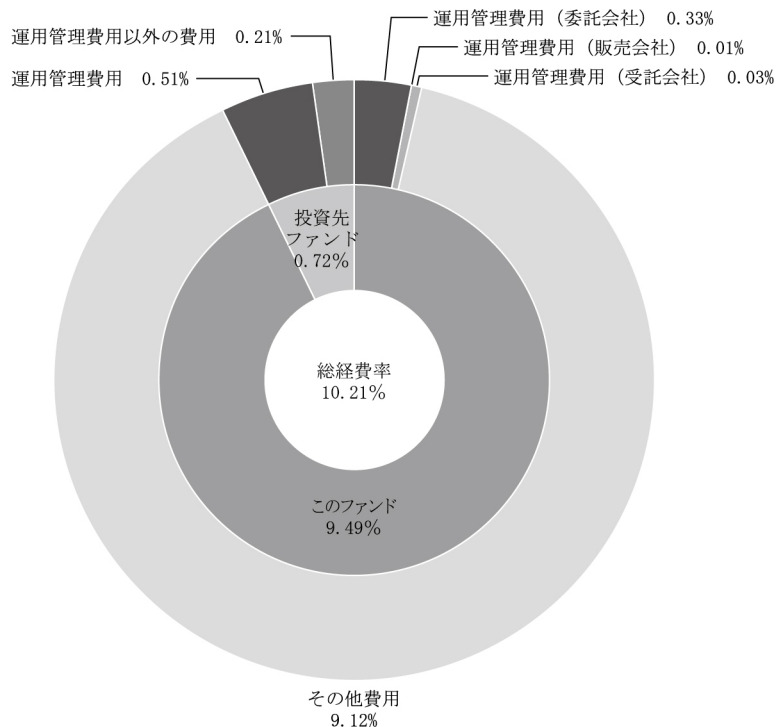
(注) 「投信会社」は、以下、「委託者」、「委託会社」という場合があります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 委託者は、2019年3月1日から2020年1月31日までの期間に、管理会社より24.35米ドルのマネジメントフィーを受領しました。

（参考情報）総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は10.21%です。



総経費率（①+②+③）	10.21%
①このファンドの費用の比率	9.49%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.21%

（注）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

（注）①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

（注）①の費用と②③の費用は、それぞれのファンドの異なる期間に計上されている点にご留意ください。

（注）ファンド名に「HSBC」を含まない投資先ファンドの経費率については、②に計上しています。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間 (設定来) の基準価額等の推移について

(2019年2月28日～2020年2月21日)



- ・分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を再投資したものと計算しております。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なり、また課税条件によっても異なるため、分配金再投資基準価額は一律にそれぞれの受益者の損益状況を示すものではない点にご留意ください。
- ・当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

	—	—	—	—	2019/2/28 設定日	2020/2/21 償還日
基準価額 (円)	—	—	—	—	10,000	9,321.31
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	—	—	—	—	—
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	—	—	—	—	△6.8
純資産総額 (円)	—	—	—	—	1,000,000	932,131

- ・分配金再投資基準価額の騰落率は、分配金 (税込み) を再投資したものと計算しております (小数点第2位以下四捨五入)。
- ・騰落率は、設定日以降償還日までの値を表示しております。

投資環境について

【株式市況】

期初から2019年8月にかけて、世界経済の先行き不透明感を背景に米国や欧州の主要中央銀行が景気に配慮した金融緩和の姿勢を打ち出し米国の金利先高観が後退したこと、これに伴い米国や新興国を中心に多くの国で利下げの動きが広がったことなどがBRIC4ヶ国（ブラジル、ロシア、インド、中国）の株式市場のサポート要因となった一方で、米中間の貿易摩擦がエスカレートし、中国経済や世界経済の減速懸念が高まったこと、中東情勢の緊迫化などが悪材料となりました。BRIC株式市場はこれらの要因が拮抗する中で下落・上昇を繰り返しながら水準を切り下げる展開となりました。

9月から12月までは、米中通商交渉が進展し両国が合意に達するとの期待が高まったこと、これに伴い中国や世界経済の減速懸念が後退したこと、加えてブラジル、インド、ロシアなどの新興国を含む多くの主要中央銀行が利下げを実施したこと、英国のEU離脱問題で「合意なき離脱」が回避される可能性が高まったことなど、多くの好材料にサポートされる形で、BRIC株式市場は堅調な展開となりました。

その後2020年に入ると、米国とイランの関係悪化により中東地域の緊張が再び高まったこと、中国での新型コロナウイルスによる感染症の広がりが報じられ、これが中国経済や世界経済に及ぼす影響について警戒感が広がったことで、株式は軟調に転じました。

個別の市場では、期を通してロシア市場は株式の割安感に加え世界経済回復の期待から大きく値を伸ばし、ブラジルやインドの株式も堅調となりました。一方で、香港上場の中国株式は米中貿易摩擦や新型感染症の広がりが重石となり、冴えない動きとなりました。

【為替相場】

期を通じて、投資対象市場の通貨は、対米ドル、対円ともに、まちまちの動きとなりました。ロシアルーブルは世界経済の成長期待を背景に上昇した一方、ブラジルレアルは、ブラジル中央銀行が速いペースで利下げを実施したことや中南米通貨全体に下落圧力がかかったことなどから軟調となりました。このほか、香港ドルは小幅上昇、インドルピーは小動きとなりました。

ポートフォリオについて

<HSBC BRIC株ファンド (SMA・ラップ専用)>

主に「HSBC GIF BRIC ファンド」への投資を通じて、BRIC（ブラジル、ロシア、インド、中国）諸国の株式等に投資しました。

<HSBC GIF BRIC ファンド>

金融およびエネルギーセクターに重点投資し、期を通じて、全体の50%~60%程度を組入れました。また、組入銘柄については、ルクオイル ADR（石油ガス精製、ロシア）、ズベルバンク（銀行、ロシア）、ガスプロム（石油ガス精製、ロシア）、リライアンス・インダストリーズ（石油ガス精製、インド）、ブラデスコ銀行PN*（銀行、ブラジル）などを組入上位に保ちました。

*PN：優先株

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

◆お知らせ◆

＜約款変更のお知らせ＞

- ・2019年11月26日付：
委託会社が登記する公告ホームページのURL変更に伴い、信託約款に所要の変更を行いました。

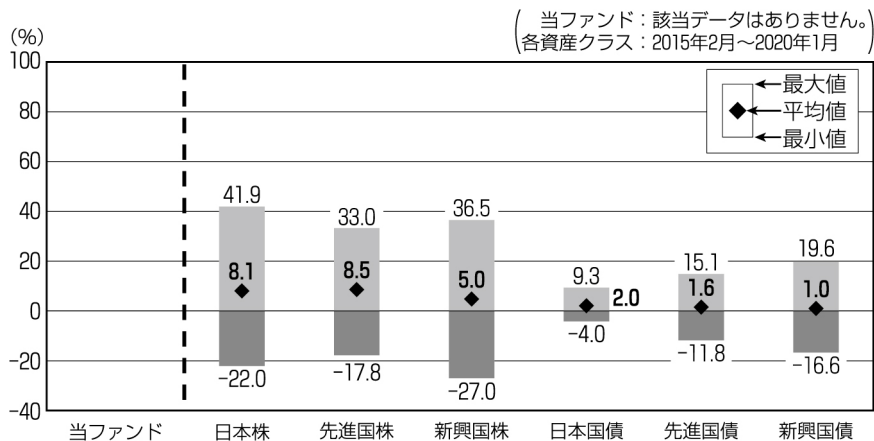
＜その他のお知らせ＞

当ファンドは、全ての受益権の解約の請求があり、当ファンドの運用の継続が困難となったため、信託約款の規定に基づき、2020年2月21日をもって信託を終了いたしました。

◆当ファンドの概要◆

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	2019年2月28日～2020年2月21日（当初：2029年2月28日まで）
運 用 方 針	主として、米ドル建てのルクセンブルク籍証券投資法人の投資信託証券への投資を通じて、BRIC諸国の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主 要 投 資 対 象	米ドル建てのルクセンブルク籍証券投資法人「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド BRIC Equity」（「HSBC GIF BRIC ファンド」）に投資します。また、ETF等にも投資します。
運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資を通じて、BRIC諸国の株式等（ADR、GDR等を含みます。）に投資します。 ・「HSBC GIF BRIC ファンド」の投資比率を高位に保つことを基本に運用を行います。 ・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
分 配 方 針	<p>年1回の決算時（毎年2月28日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>

◆ (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆



グラフは、代表的な資産クラスについて、上記記載の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したのですが、当ファンドについては設定後1年を経過していないため、騰落率のデータはありません。なお、代表的な資産クラスのすべてが当ファンドの投資対象になるとは限りません。

- ・当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値と異なります。

【各資産クラスの指数】

日本株：東証株価指数(TOPIX) (配当込み)
 先進国株：MSCI コクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)
 新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)
 日本国債：NOMURA-BPI 国債
 先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)
 新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド(円換算ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

◆当ファンドのデータ◆

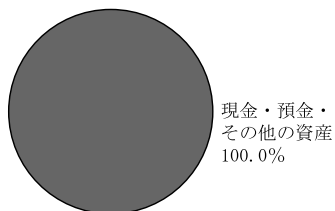
(2020年2月21日現在)

当ファンドの組入資産の内容

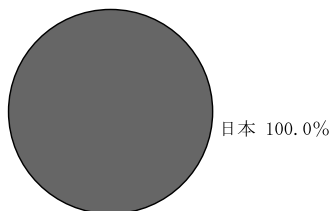
○組入ファンド等

信託終了日における有価証券等の組入れはありません。

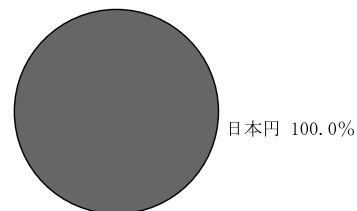
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



- ・配分は当ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国別配分は、国・地域別による配分です。

○純資産等

項目	償還日 2020年2月21日
純資産総額	932,131円
受益権総口数	1,000,000口
1万口当たり償還価額	9,321円31銭

(注) 期中における追加設定元本額は2,101,185円、一部解約元本額は2,101,185円です。

◆指数に関して◆

<「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について>

▶東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利および東証株価指数（TOPIX）の商標または標章に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。なお、当ファンドは、株式会社東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、株式会社東京証券取引所は、当ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

▶MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）

▶MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が公表しているインデックスで、その著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

▶NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

▶FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）

FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

▶JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円換算ベース）

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、J.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。